

ぼくたち わたしたちの 4月 みちしるべ VOL. 73

~Run to the FUTURE~

2013年4月1日発行
発行元
早稲田育英ゼミナール
0120-198176
www.wasedaikuei.co.jp



全国のみんなこれにちは!!

4月は新しい生活のスタート、進級、進学のシーズンです。今回のみちしるべは、「合格者 喜びの声」の特集です。喜びの声は、早稲田育英ゼミナールに通う全国の塾生の合格体験記です。春なのに、今年は受験生なのでとても不安な気持ちになっているキミ! この「喜びの声」を読んで、元気を分けてもらってください。

東京都立 国立高等学校
ICU 高等学校（一般）
西武学園文理高等学校（英語科）

久米川教室 春田 遼子

私は中一の夏前から塾に通っていますが、志望校を決定し、本格的に過去問などを解き始めたのは、受験直前の12月頃でした。都立も私立も特に数学が難しく、12点や35点をとったこともあります、心が折れそうな時期もありました。

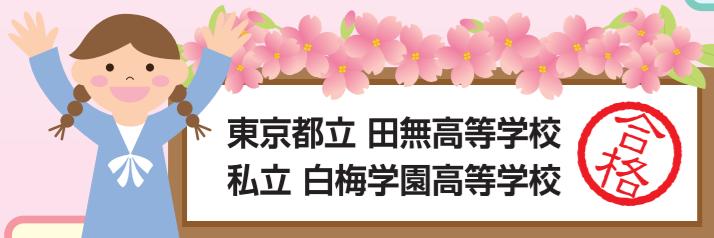
しかし、分からぬところは塾の先生にとにかく質問し、一問一問丁寧に解説してもらしながら、間違つた問題をすべて解きなさいました。

理科や社会も、塾にあって使える教材は、片端から解かせてもらいました。宿題の量が多く大変でしたが、家では12時までには寝るよう心がけていました。

受験が無事終わり、受験校の全てに合格できて、一所懸命やったかいがあった今はホッとしています。

高校に入ってからも、塾の先生方の教えと努力を忘れずに、頑張っていきたいと思います。

Where there's a will,
there's a way!



久米川教室 岡村 芽衣

私は中学一年生の夏から早稲田育英ゼミナールに通いました。

毎日部活のテニスで通うのが大変でしたが、中学三年生の夏に部活の引退するとともに、塾では勉強に切り替えさせてくれました。

それからは、ほぼ毎日五教科全教科を教えてくれました。そのおかげで模擬試験の結果も上がりました。

先生たちは厳しいですが、効率のよい解き方や勉強方法を身につけさせてくれたので、より集中して頑張ることができました。そのため入試では落ち着いて受けられ、第一志望の高校に受けました。本当に嬉しかったです。

塾の先生方には言葉で表せないほど感謝しています。ありがとうございました。

久米川教室 春田 かつら（春田遼子 母）

「勉強の仕方が分からない。」中学校に入って初めての定期テストの前に娘がつぶやき、六月に塾探しをしました。いろいろな塾を見ましたが、早稲田育英ゼミナールの久米川教室に見学を行ったとき、第一印象で即決しました。その印象どおり、温かい雰囲気の中でとても熱心に指導していただきました。

娘は実は勉強嫌いですが、真面目な性格が功を奏し、塾で課されたことをよくこなしていました。（やればやるだけ課題は厳しくなり、苦しんでいましたが・・・）

苦手な数学もあきらめずに頑張った結果は模擬試験の成績にも表れ、本人も喜んでいました。諦めずに努力すればどんな難しい問題も理解し解ける喜びを学んだと思います。

塾では無欲な私たち親子を叱咤激励してくださいました。そのおかげで第一志望校に合格することができました。

本当にありがとうございました。

Congratulations!

保護者の体験記

久米川教室 岡村 奈穂美（岡村芽衣 母）

塾には中一の夏から通わせてもらっていたものの、部活三昧で、中三の夏に引退するまで、いまひとつ成績が伸びませんでした。そんな娘がここまで続けて頑張ってこれたのは、個別指導による適切なご指導があったからだと思います。

自習室なども毎日のように利用させていただき、落ち着いて勉強する環境を与えてくださったことも良かったと思います。

志望校がなかなか決まりず悩んでいたときなども、いろいろ相談にのっていただきました。

最後の最後まで、しっかりご指導くださったおかげで、志望校の高校に合格することができました。

感謝をしております。ありがとうございました。



久米川教室 河村 美帆

私が受験で一番苦労したのは国語です。夏の頃は文章を読むスピードがとても遅く、問題が最後まで終わらない状態でした。だから、他の教科で点数が取れても、国語で点数を落としてしまうので、夏の頃の五教科の成績は思ったほどよくありませんでした。

しかし、塾でもらった問題集をたくさん解き、繰り返しやっていると、少しずつですが、文章を読むスピードが速くなり、国語の点数が上がってきました。塾の先生方には、国語に限らず、いつも全体の時間を意識して解くようアドバイスしていただいたのも良かったと思います。

冬休みの頃は、まだ夜遅くまで勉強していました。

しかし、一月に入りて生活習慣を見直し、早寝早起きをすることを実現しました。すると、短時間で効率よく勉強しなければならなくなり、より集中力が高まり、成績がさらに上がっていました。そのおかげで入試本番では落ち着いて自信を持って受けることができました。

私は、受験を通して、問題をたくさん繰り返して解くことと生活習慣を見直し早寝早起きをすることは、成績を上げる上でとても大切だということが分かりました。

ほんの少しですが自分の勉強スタイルができたように思います。このことを生かして高校入学後も大学に向けて勉強していくたいと思います。



東京都立 青山高等学校



六郷教室 鮫江 真帆

私の受験生生活は苦しいだけではありませんでした。楽しいこともあります。受験勉強は去年の夏休みから、毎日少しずつコツコツとやりました。私は短期集中をすることはできないので前で述べた勉強スタイルをとりました。友人と遊んだり、部活にもたまに行きました。でも、一日も勉強をサボったりはしませんでした。また、塾で教わったことをもう一度復習していました。一度教わったことをもう一度復習することで自分の頭に定着し、学校のテストや入試で問題が以前より解けるようになりました。復習は何よりも大切なことだと中三になってやっとわかりました。

多分どの中三生も同じく経験したと思いますが、成績が全く伸びなくなってしまった時期もありました。その時、本当に悔しくてそんな自分が嫌になりました。もう全て投げだしてしまいたくなる自分がいました。でもここであきらめたら行きたい高校に行けなくなると思い、いくら成績が伸びなくても勉強をし続けました。その時、勉強し続いた自分がいるから今の自分がいるのだと思います。

友人と学校で、昼休みや放課後に、思いっきり鬼ごっこや影踏みなどをやったことはとてもリラックスできました。体をたくさん使うからだと思います。

なんだかんだであっという間に入試の日になってしまいましたが、入試本番では100%の力を出すことができました。100%の力を出せたことで合格することができたんだと思います。その100%の力を出せたのは、わからないところをわかるまで教えてくれた先生方が居たからだと思います。本当にありがとうございます。

この高校受験で本当の敵とは自分であり自分に打ち勝つことが合格につながるんだとわかりました。このときの気持ちを忘れない高校でも頑張ります。

Congratulations!



六郷教室 石田 菜穂（母）

速達郵便での合否発表、朝からその知らせを待つ時間の長かったことを今でも覚えています。書類の封を開け、「合格」と目に入った瞬間、学校へ行っている娘に一刻も早く伝えてあげたくて、担任の先生にお電話をしました。本人が知らせを聞いたのは、お昼休みだったと後から聞きました。

志望校を決めるにあたっては、本当に悩みました。これから時代、何か一つでも、これで勝負できるのだ。という「強み」を持たせてあげたいこと。それも中途半端ではなく、スペシャリストとして通用するようなもの、彼女にとっては、それが「語学」だと、考えました。高校一年生の終わりから、一年間、学年全員が海外へ留学する学校です。

海外留学への期待や不安もあり、最終決断をするまでは、学校説明会や学園祭、先輩方との意見交換会など、何度も足を運びました。そのお陰で、期待や不安は、夢を叶えたいという気持ちに変わっていっています。

Congratulations!



東京都立 高島高等学校（推薦）

志村教室 柴崎 恵里

私が早稲田育英ゼミナールに入ったのは、中学二年の冬でした。その頃は吹奏楽部の活動が忙しく、あまり勉強をしていませんでした。

けれども、少しずつ進路のことを考えるようになり、塾に自習にも行き、一生懸命勉強し始めるようになってきました。すると三年生の最初の中間テストで、どの科目も今まで一番良い点数をとることができました。それをきっかけに成績も安定し、通知表もよくなつて、第一志望の都立高校に推薦で合格できました。

私が理解できるまで丁寧に熱心に教えてくださった志村教室の先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。

高校でも勉強と部活を両立させ、がんばっていきます。

Congratulations!



中学3年 水元教室 細谷 星来さん「不安」

私が不安になる時は、何かの試験の前や部活動での試合の前などです。今まで練習してきた成果を発揮できるか不安になります。

例えば、中学校での定期試験で、良い点数がどれか不安になったり、所属していたサッカーチームでの重要な試合の時に得点できるか、活躍できるか、足をひっぱらないかと不安になってしまいます。何回か経験したことでも毎回不安になってしまうことが多いです。

私はこの不安をなくすために毎回やっていることがあります。それは、好きな音楽を聴いたり、好きな本を読むことです。この二つのことをすると心が落ち着いて不安がなくなります。

私はこれから人生を決める、受験が待っています。その時も不安をなくして自身の本当の力を発揮できるようにしたいです。そして、将来、何にも頼らずに不安をなくし、いつでも本領が発揮できる人になりたいです。

私は、この短歌を読んで、「たとえ小さくても折れていても、不恰好であってもコスモスはコスモスで花を咲かせる。」と感じました。コスモスはきれいな花という印象が強いですが、少し不恰好なコスモスもあり、一つ一つの花が持っている個性があります。どんな状態であっても成長し続けて、生きていかなければいけないと実感しました。

コスモスの力強く生きていこうとする姿は、見ている人たちを元気づけて勇気を与えてくれるのだと思います。

私は、今までやりたいと思ったことがあっても、失敗するのが怖くて、あきらめています。しかし、この短歌をよんで私は私なので何も変わらないし、たとえ折れ曲がっていてもいいのだと思います。これからは、様々なことに挑戦したいです。そして時には、折れ曲がってみたいと思います。

どんな人でもみんなと同じだけの可能性を持っていて、いつかきっと花開く瞬間があるでしょう。

ちえのわ

このコーナーでは、様々なクイズ・なぞなぞ等を出題します。正解者の申込抽選で、5名の方に図書カード1000円分をさし上げます。塾長の手元にある応募用紙（アンケート用紙）に答えを記入して、塾長に提出してFAXしてもらってください。さあ、いろいろ智恵を借りながら、みんなで楽しくレッツチャレンジ!

Q.トランプが好きなクルマは?